

「中国やまなみ街道」全通後の波及効果について

～観光施設・道の駅におけるアンケート調査結果～

（詳細版）

中国経済連合会

平成２８年３月

1. 調査の目的と方法

(1) 調査の目的

中国やまなみ街道全通後 3 ヶ月間(H27 年 4 月～6 月)の波及効果を把握。

(2) 調査対象

中国やまなみ街道とそれに接続する高速道路沿線の地域における 189 の観光施設、31 の道の駅を対象。

(注) 松江道開通後の調査(平成 25 年度実施、以下前回調査という)と同様の範囲を対象。前回調査では、入館者数が公表されている 153 の観光施設を対象としたが、今回はそれに加えて尾道自動車道沿線の 36 施設(入館者数非公表)を追加。道の駅は松江道開通時に開設された 2 施設を追加。

(3) 調査時期・調査方法

平成 27 年 7 月に郵送配布・郵送回収方式で実施。

(4) 回収結果 ()内は前回調査の回収率

対象	配布数	有効回収数	有効回収率
観光施設	189	126	66.7%(61.4%)
道の駅	31	30	96.8%(89.7%)

(注) 以下、結果図表中の n は回答数であり、不明があるため有効回収数とは異なる場合がある。また、%表示は小数第 2 位を四捨五入しているため、合計しても 100%にならない場合がある。

(5) 地域区分

前回調査と同様、4 エリアに区分して、波及効果等を分析。



2. 観光施設への波及効果

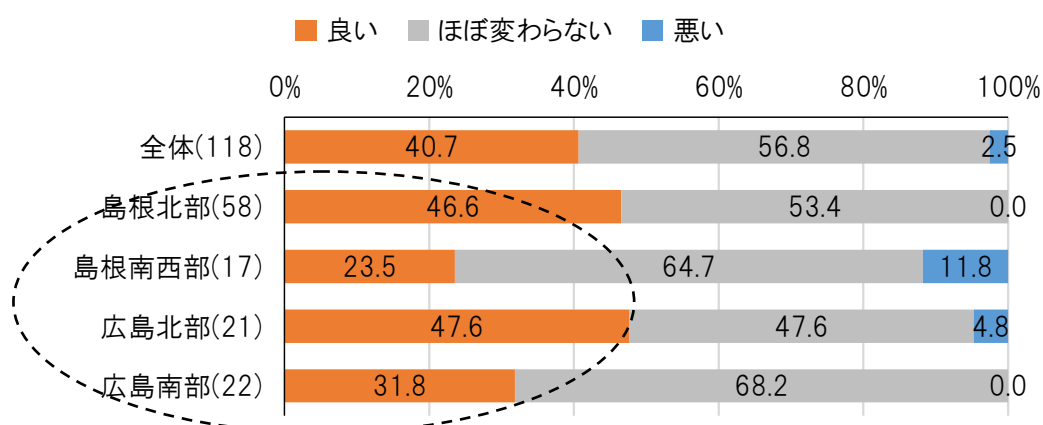
(1) 中国やまなみ街道全通の影響評価（エリア別）

○松江自動車道開通（平成 25 年 3 月）後の好影響に続き、中国やまなみ街道全通（平成 27 年 3 月）による第 2 段階目の好影響が発現。

- ・ 前回調査では、松江自動車道開通の波及効果について高く評価されたが(波及効果の第 1 段階)、それに続く第 2 段階目の好影響が発現。
- ・ 松江自動車道開通時には出雲大社の平成の大遷宮とも重なり、好影響は島根北部に集中したが今回はそれ以外の地域でも好影響が広がる。
- ・ 特に、広島北部エリアでの高評価の伸びが大きい。同エリアは中国やまなみ街道の中間地点であることから、広域からの観光バスの立ち寄り地選ばれている状況。

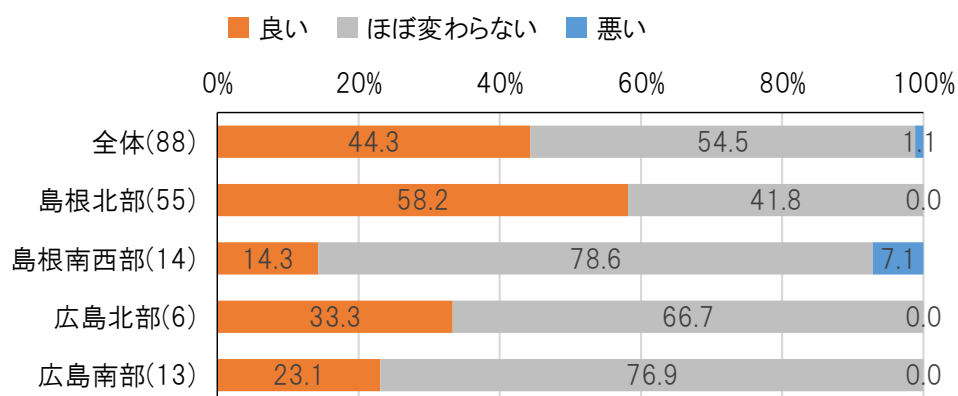
H27(対前年)

全通の影響評価(中国やまなみ街道)



H25(対前年)

全通の影響評価(松江自動車道)



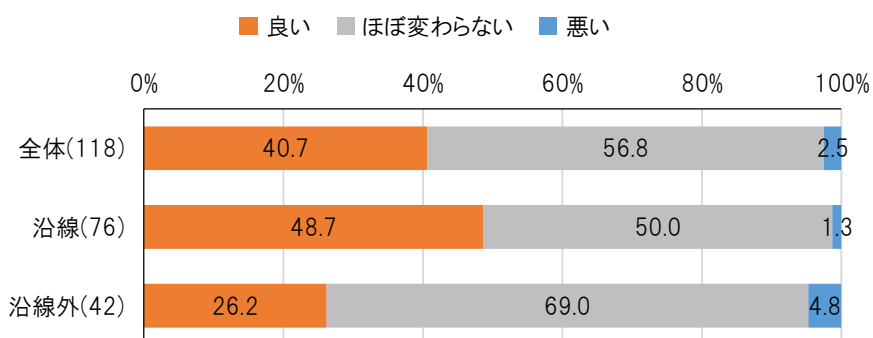
(1) 中国やまなみ街道全通の影響評価（沿線／沿線外）

○中国やまなみ街道「沿線」と「沿線外」とに区分してみると、沿線に位置する施設の方が沿線外の施設に比べ「良い」という評価が多くなるが、松江道開通時ほどの差はない。

- ・松江道自動車道開通時には「沿線」と「沿線外」での明暗の差は強かったが、今回はそれがやや緩和された形となっている。

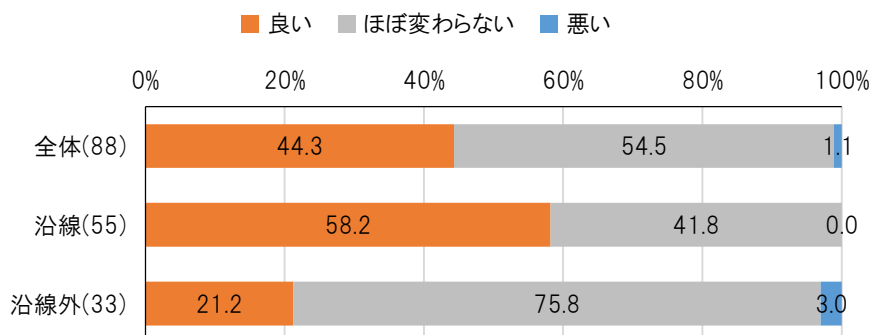
H27(対前年)

全通の影響評価（中国やまなみ街道）



H25(対前年)

全通の影響評価（松江自動車道）



(注) 沿線地域

松江市、出雲市、雲南市、庄原市、三次市、尾道市、世羅町

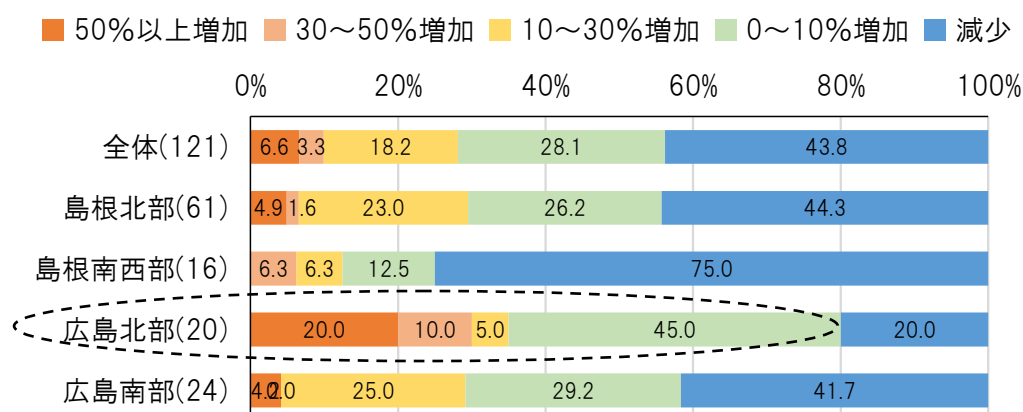
(2) 入館数の変化(エリア別)

○集客においても、松江道開通後の好影響に続き、中国やまなみ街道全通による第2段階目の好影響が発現。

- ・松江自動車道開通時には好影響は島根北部に集中したが、今回はそれ以南の未開通エリアが開通したことから、広島北部エリアにおいて大きなインパクト。

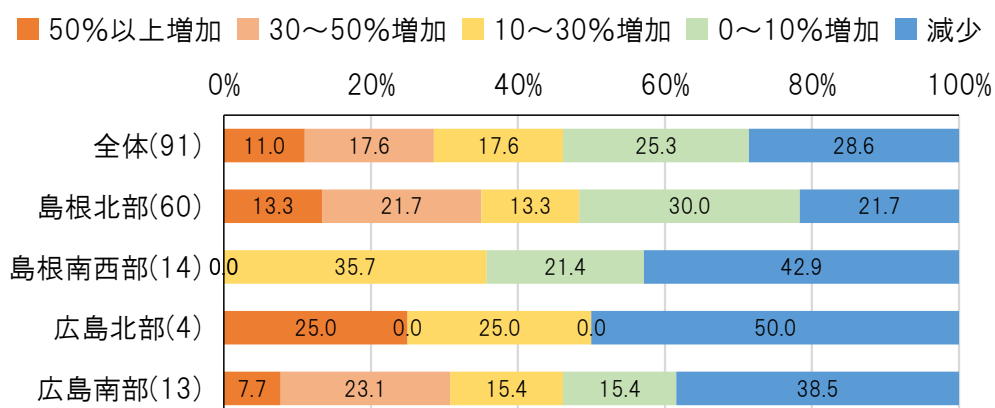
H27(対前年)

入館者数の変化(中国やまなみ街道全通)



H25(対前年)

入館者数の変化(松江自動車道全通)



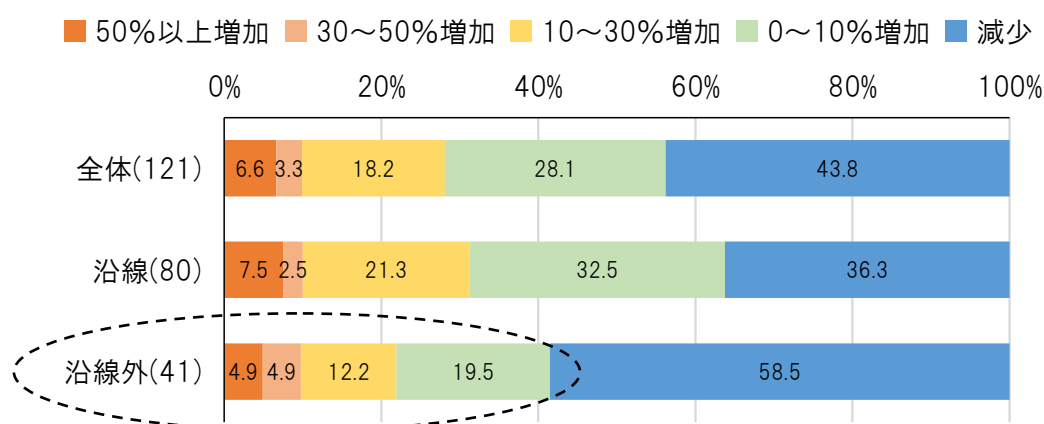
(2) 入館数の変化(沿線・沿線外)

○好影響の波及効果は高速道路(中国やまなみ街道)の後背地エリアまでは十分に広がっていない状況。

・松江自動車道開通時と同様であるが、沿線外地域への好影響の出方は弱い。

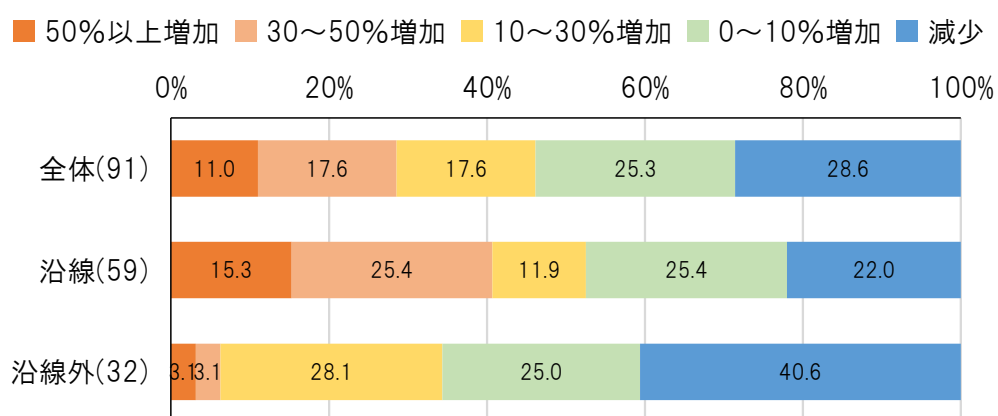
H27(対前年)

入館者数の変化(中国やまなみ街道全通)



H25(対前年)

入館者数の変化(松江自動車道全通)



(注) 沿線地域

松江市、出雲市、雲南市、庄原市、三次市、尾道市、世羅町

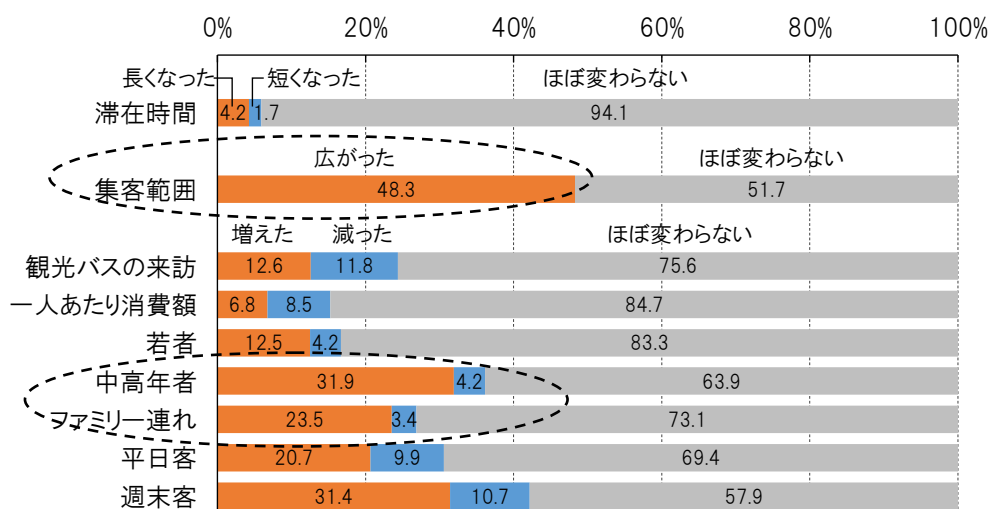
(3) 入館者の動向

○約 5 割の観光施設が「集客範囲の拡大」を実感。

○中高年者、ファミリー連れ等多くの階層で入館者数がさらに増加。
但し、観光バスや若者の増加は松江自動車道開通時よりも低い。

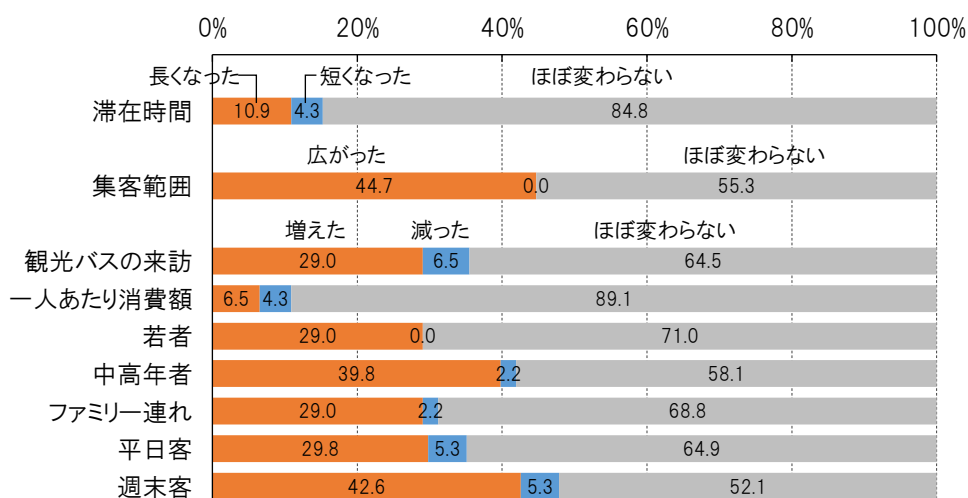
H27(対前年)

入館者数の変化(中国やまなみ街道全通) n=121



H25(対前年)

入館者数の変化(松江自動車道全通) n=94

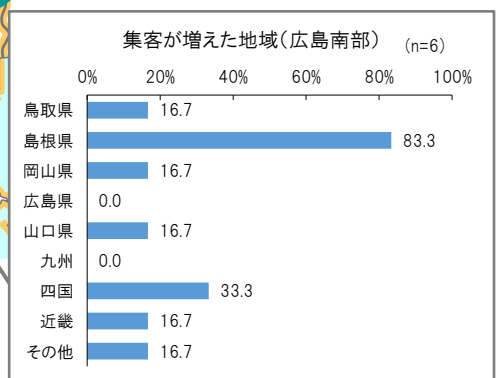
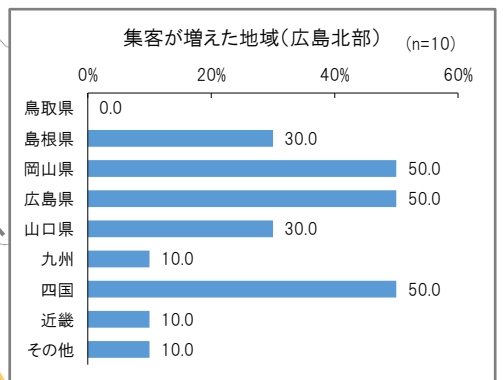
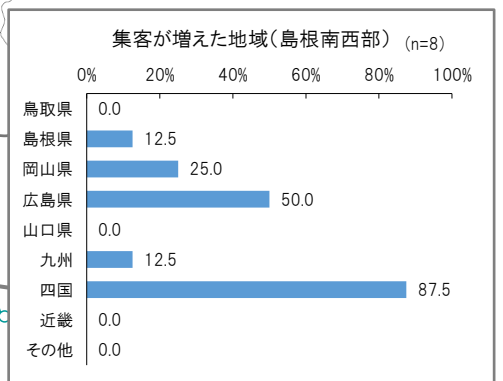
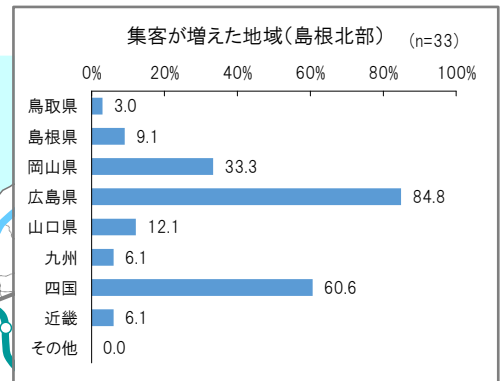
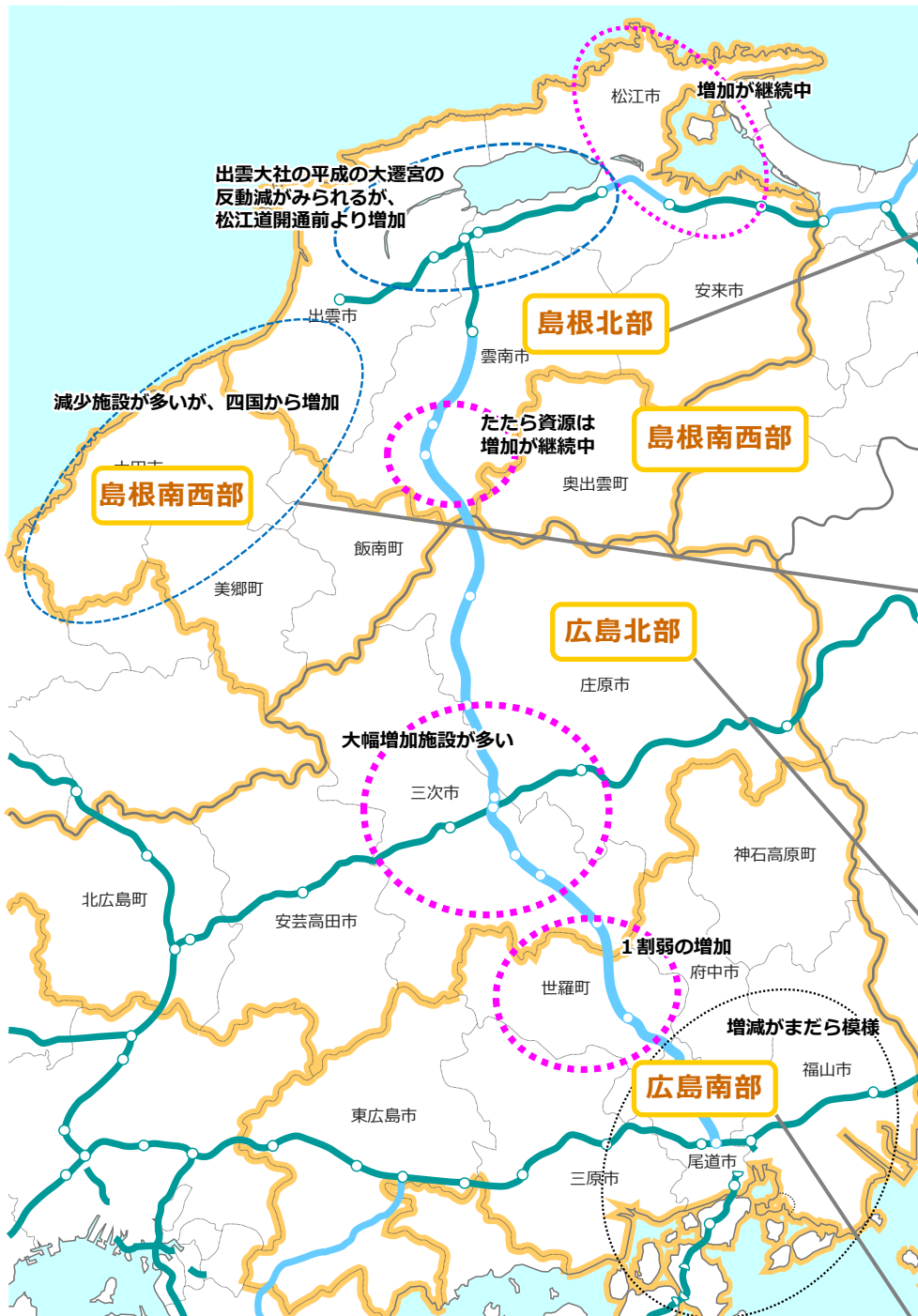


(3) 入館者の動向(「集客範囲の拡大」した地域)

○高速道路のネットワーク効果により集客範囲が四国・山陽道沿線に拡大。

- ・やまなみ街道としまなみ海道・山陽自動車道が結節したことで、四国をはじめ岡山県・山口県・近畿・九州等の山陽道筋からの集客が増加。

中国やまなみ街道全通の影響による入館者数の動向



(4) 中国やまなみ街道の全通にあわせた取組み

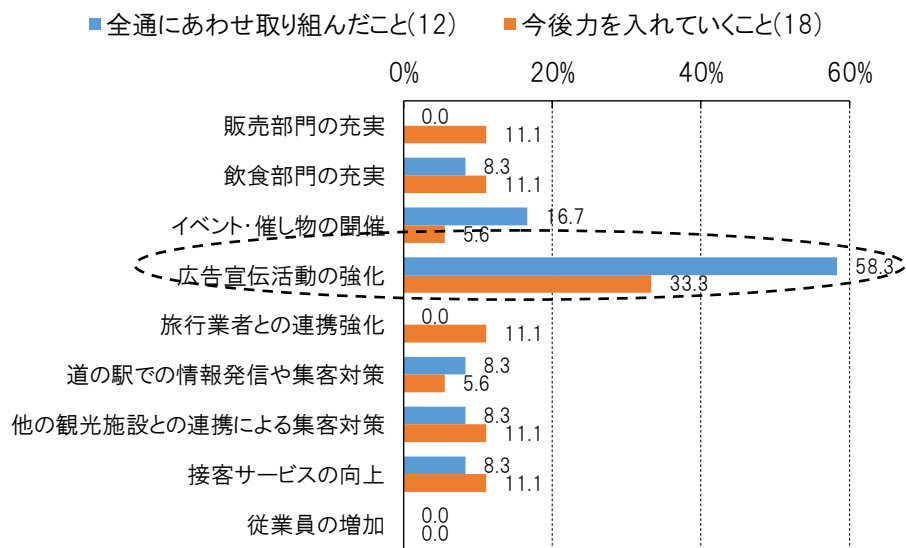
○今後の課題としては、「広告宣伝の強化」を意識。

- ・中国やまなみ街道全通に合わせた取組みのうち特に重要なものとしては、「広告宣伝活動の強化」が突出。今後力をいれていくことも同様。

松江自動車道開通時には「道の駅での情報発信や集客対策」が多かったが、道の駅での情報発信等は一定程度定着してきているものと推察。

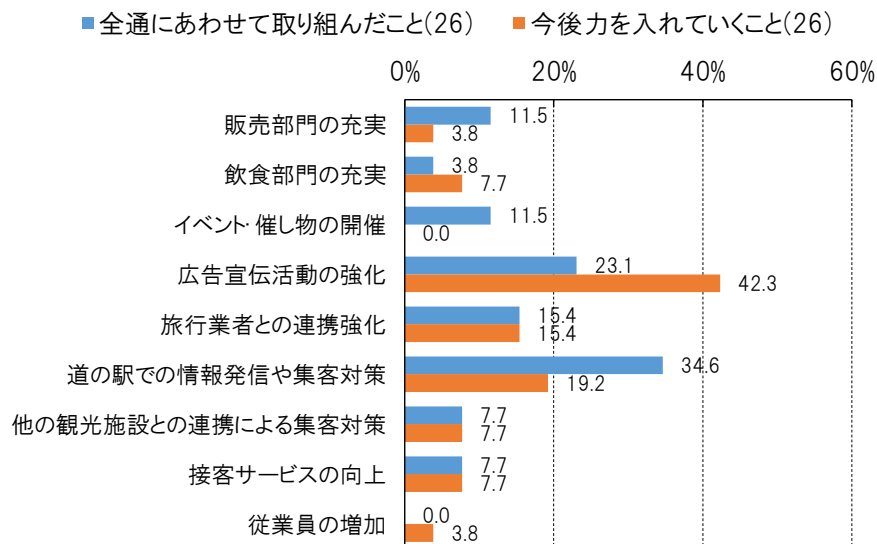
H27(対前年)

全通にあわせて取組んだ重要項目(中国やまなみ街道)



H25(対前年)

全通にあわせて取組んだ重要項目(松江自動車道)



3. 道の駅への波及効果

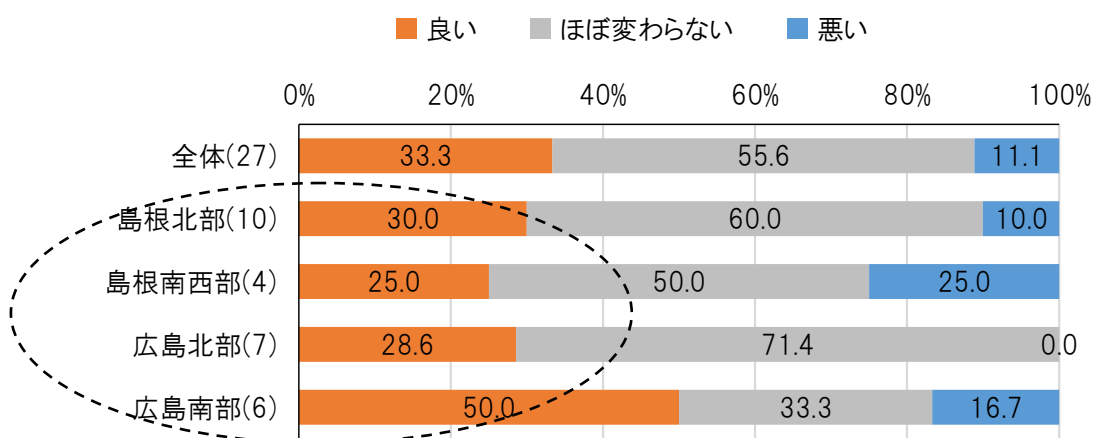
(1) 中国やまなみ街道全通の影響評価（エリア別）

○中国やまなみ街道の全通により、沿線地域のほぼ全域で好影響。

- ・松江自動車道開通時には、好影響は島根北部エリアに強くでていたが、今回は広島南部エリアを始め、好影響が広範囲に。

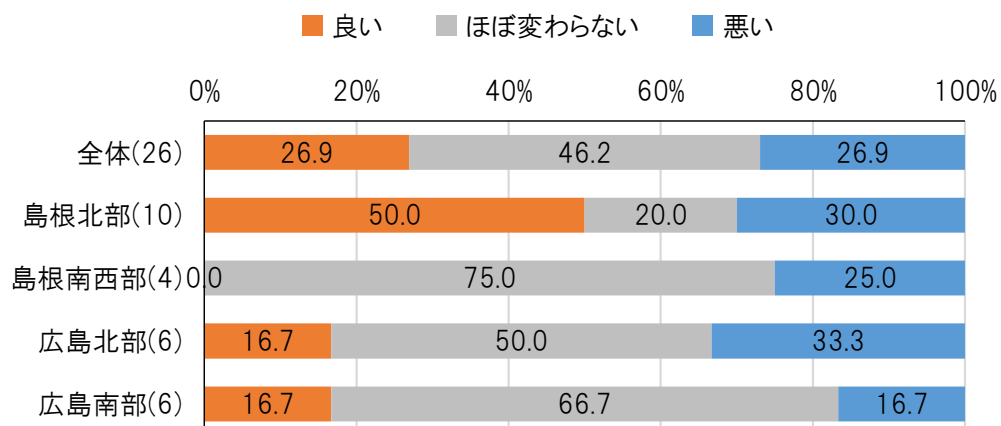
H27(対前年)

全通の影響評価（中国やまなみ街道）



H25(対前年)

全通の影響評価（松江自動車道）



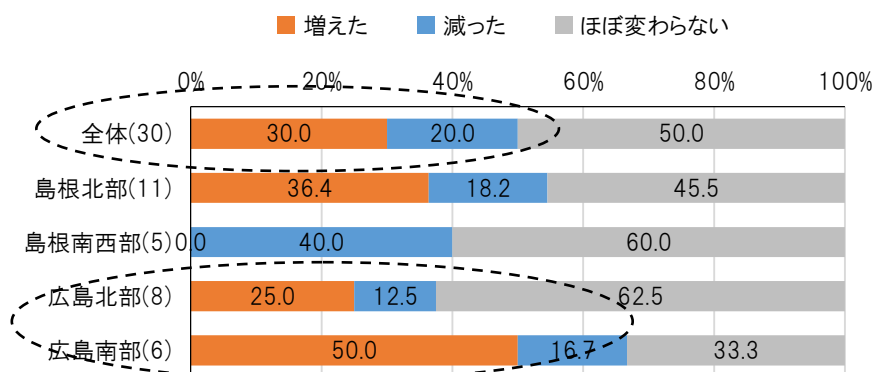
(2) 来訪者数の変化（エリア別）

○松江自動車道開通時には、並走する国道沿線の道の駅において来訪者数の落ち込みがみられたが、今回調査では、来訪者数が「減少した」という回答が大幅に減少。一方「増加した」という回答が約 2 倍に増加。

○広島北部、広島南部エリアにおいて、好影響の発現が顕著。

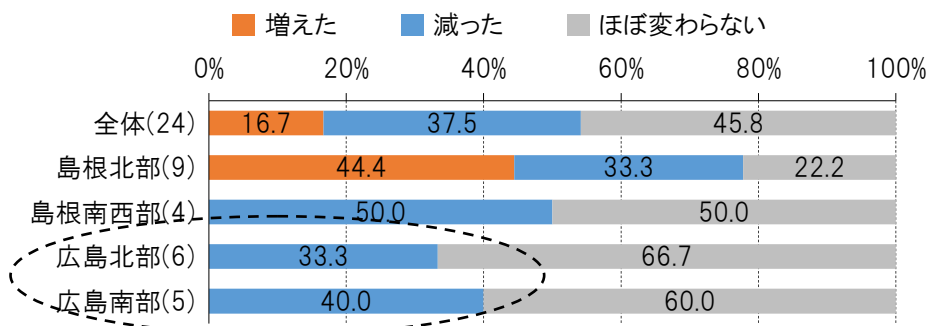
H27(対前年)

来訪者数の変化（中国やまなみ街道全通）



H25(対前年)

来訪者数の変化（松江自動車道全通）

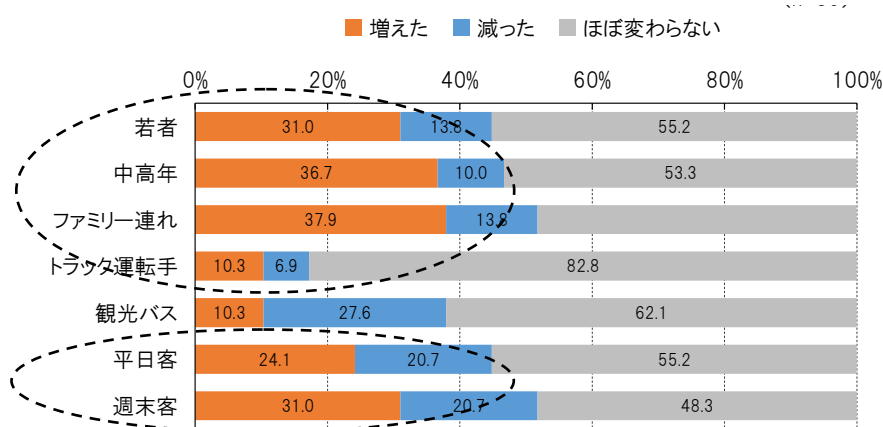


(2) 来訪者数の変化（階層別）

○若者、中高年、ファミリー連れ、トラック運転手など多くの階層で、また、週末客、平日客を問わず「増加した」が「減少した」を上回るなど、道の駅については、松江自動車道開通時の落ち込みからの盛り返しが見られる。

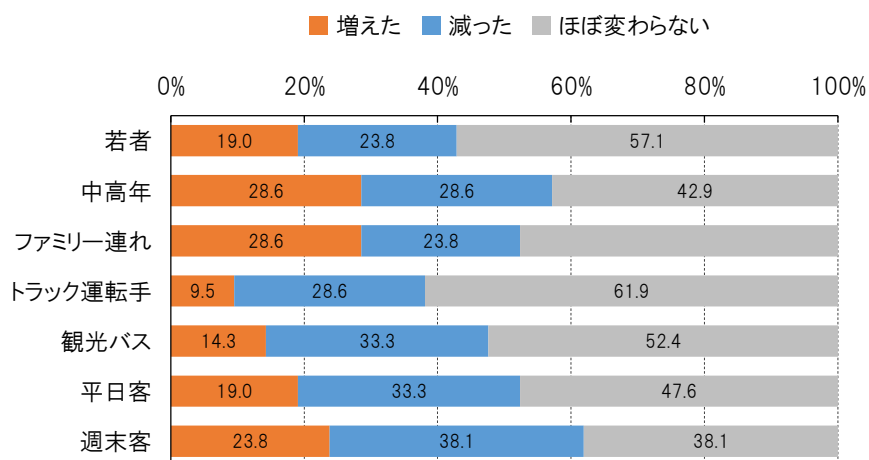
H27(対前年)

来訪者数の変化（中国やまなみ街道全通） n=30



H25(対前年)

来訪者数の変化（松江自動車道全通） n=21



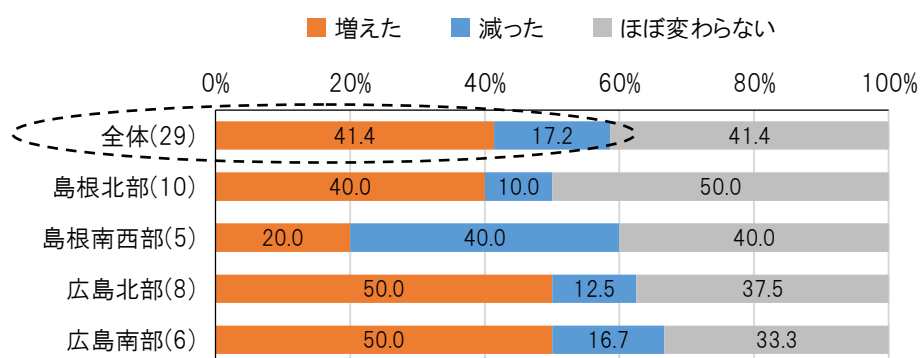
(3) 売上の増減（エリア別）

○前回調査では、売上が「減少した」施設が「増加した」施設の 2 倍以上の数に達していたが、今回はその割合が逆転し、売上の改善が窺える。

○また、各道の駅の「高速道路 IC からの距離」と「売上」の相関を見ると、IC から 5km 以内に位置する施設では売上が軒並み増加、IC から離れると増減がまだら模様となる傾向。
道の駅の売上に対して高速道路からのアクセスの影響が大きいことが窺える。

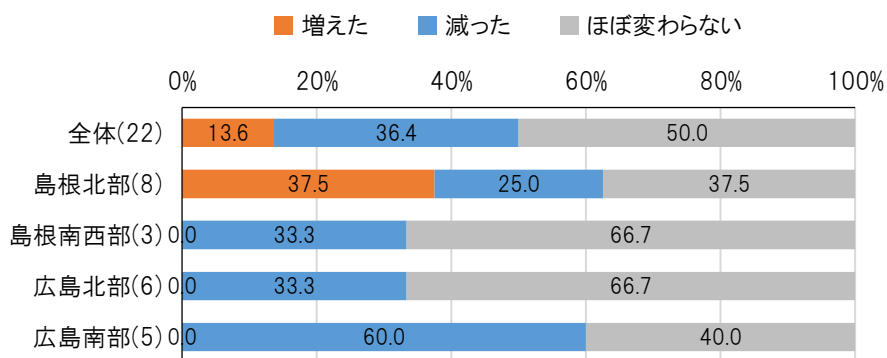
H27(対前年)

売り上げ増減（中国やまなみ街道全通）



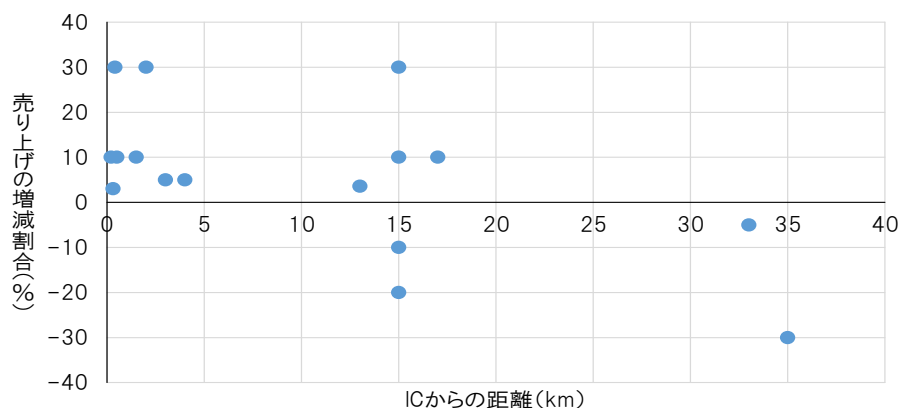
H25(対前年)

売り上げ増減（松江自動車道全通）



H27(対前年)

IC からの距離 × 売上の増減割合（中国やまなみ街道全通）



(4) 全通に合わせた取組み

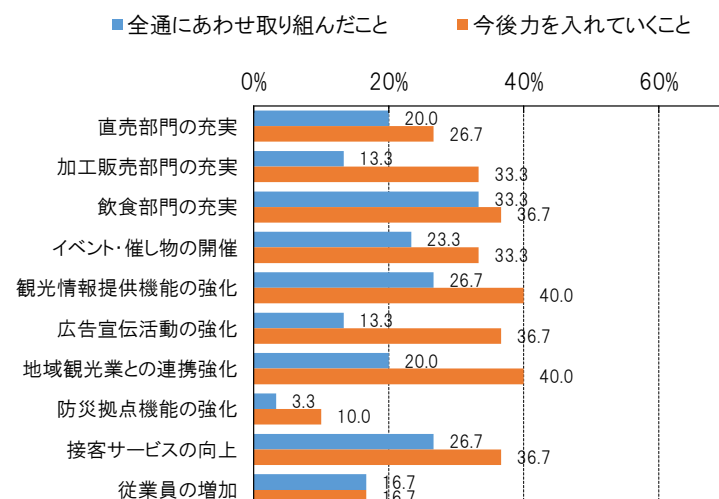
○今後より力をいれようとしていることは「飲食の部門の充実」「観光情報提供機能の強化」「広告宣伝活動の強化」「地域観光業との連携強化」「接客サービスの向上」など。

○道の駅を特徴付けている商品・サービスとしては、食事とお菓子類が多い。

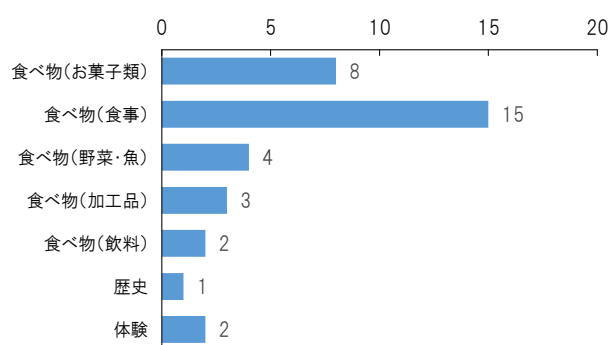
- ・近年増加傾向にある道の駅では、食品関連の商品・サービスによる差別化に注力している。

H27(対前年)

全通にあわせて取組んだこと (中国やまなみ街道全通) n=30



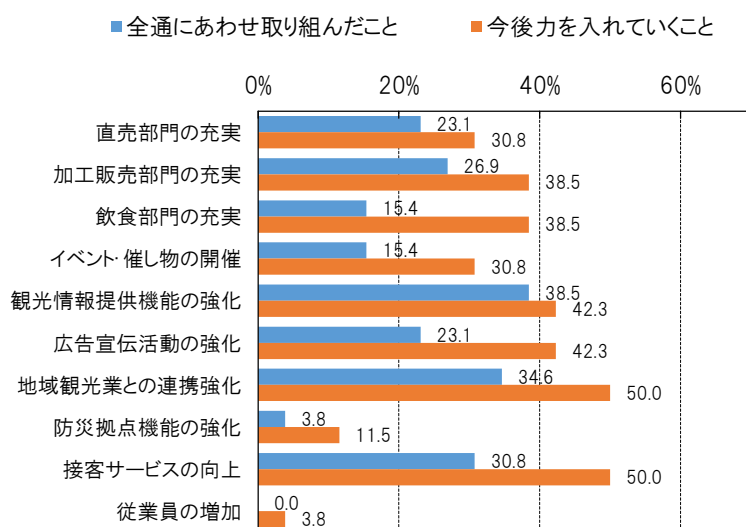
道の駅を特徴付けている商品・サービス n=29



(注)複数回答として集計

H25(対前年)

全通にあわせて取り組んだこと (松江自動車道全通) n=26



4. 中国やまなみ街道全通による波及効果(まとめ)

- ① 沿線地域には、2年前の松江自動車道（松江～三次）開通時に続く第2段階目の好影響が発現。前回の好影響は島根北部に集中したが、今回はそれ以南の全地域へ好影響が広がっている。
- ② 陰陽間の交流が双方向になったことに加え、しまなみ海道・山陽道との接続により四国や関西・九州など集客範囲が拡大。更なる広域観光振興の観点から山陰道整備促進に期待。
- ③ 各層（中高年者、ファミリー連れ等）において、やまなみ街道全通後も入館者数の増加が継続。観光バスにかわるマイカーやバイクなど多様な移動手段利用への動きがうかがえる。
- ④ 沿線の道の駅では「食」による特徴付けが進展し、入込数・売上の増加に寄与。